

みずほCustomer Desk Report 2019/12/05 号(As of 2019/12/04)

市場営業部 為替営業第二チーム

【昨日の市況概要】

	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	公示仲値	108.57
				GBP/USD	AUD/USD
TKY 9:00AM	108.67	1.1082	120.41	1.2997	0.6850
SYD-NY High	108.96	1.1116	120.79	1.3120	0.6855
SYD-NY Low	108.43	1.1067	120.11	1.2984	0.6813
NY 5:00 PM	108.87	1.1077	120.60	1.3104	0.6850
NY DOW	27,649.78	146.97	日本2年債	-0.160	▲1.00bp
NASDAQ	8,566.67	46.03	日本10年債	-0.040	▲1.00bp
S&P	3,112.76	19.56	米国2年債	1.5771	3.61bp
日経平均	23,135.23	▲244.58	米国5年債	1.6023	5.90bp
TOPIX	1,703.27	▲3.46	米国10年債	1.7767	6.01bp
シカゴ日経先物	23,345.00	210.00	独10年債	-0.3165	3.45bp
ロンドンFT	7,188.50	29.74	英10年債	0.7390	7.25bp
DAX	13,140.57	151.28	豪10年債	1.0730	▲5.75bp
ハンセン指数	26,062.56	▲328.74	USDJPY 1M Vol	5.30	▲0.20%
上海総合	2,878.12	▲6.58	USDJPY 3M Vol	5.65	▲0.06%
NY金	1,480.20	▲4.20	USDJPY 6M Vol	6.10	▲0.05%
WTI	58.43	2.33	USDJPY 1M 25RR	-1.05	Yen Call Over
CRB指数	179.40	1.81	EURJPY 3M Vol	5.91	0.01%
ドルインデックス	97.60	▲0.13	EURJPY 6M Vol	6.31	▲0.07%

【昨日の指標等】

Date	Time	Event	結果	予想
12月4日	18:30	英 マークイットサービス業PMI・確報	11月 49.3	48.6
	22:15	米 ADP雇用統計	11月 67k	135k
12月5日	00:00	米 ISM非製造業指数	11月 53.9	54.5

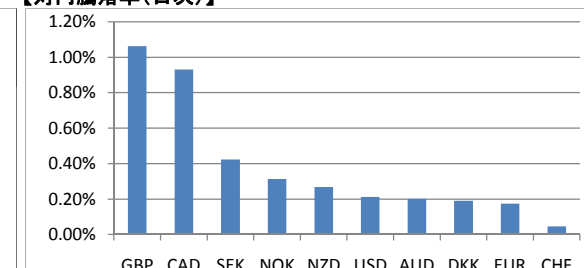
【本日の予定】

Date	Time	Event	予想	前回
12月5日	19:00	欧 GDP(前年比)・確報	3Q F 1.2%	1.2%
	22:30	米 新規失業保険申請件数	30-Nov 215k	213k
12月6日	00:00	米 製造業受注(前月比)	10月 0.3%	-0.6%
	00:00	米 耐久財受注(前月比)・確報	10月 0.6%	0.6%

【ドル円相場】



【対円騰落率(日次)】



【マーケット・インプレッション】 今年一年期待を裏切った国は...

早くも師走ということで、2019年を総括するような記事も増えてきているが、新興国という観点から、2019年を振り返らせていただきたい。思い返すと年初の状況は、米中問題がくすぶる中、世界経済に減速感が漂い、パウエルFRB議長は年初早々に利上げの停止を事実上宣言。新興国にとって、世界景気の減速は当然マイナス要因となるものの、米国FRBのハト派化はプラスに作用するというのが大凡の見立てであった。足元の状況と年初の想定を比較してみても、結果としてそこまで乖離は生じていない印象である。そうした中、期待に対して良い一年となったと感じる国の代表格はブラジルだ。何と言っても、同国最大の懸案であった財政赤字の改善につながる年金法の改革を無事成立させたことは、今後に向けた大きな一歩につながるであろう。現政権は、2020年に向けても改革を進めるとみられており、とりわけ極めて複雑な税制改革には期待をしたいところだ。こちらも、無事成立に漕ぎつければ、ビジネス環境の改善につながると共に、対内投資の呼び込みにつながることも期待される。一方で、最も期待外れとなったのはインドではないだろうか。注目を集めた総選挙こそ、与党BJPの圧勝に終わったものの、景気は低迷し、通貨も軟調に推移している。為替レートに関しては、当局のルビー高抑止とみられるスタンスに因る部分もあるが、景気の減速は根深い問題が潜んでいる。天候不順による農業の不作と個人消費の低迷、中国からの競争力のある商品の安価流入、自動車販売の低調等、要因を挙げると枚挙に暇がないが、最も根深いと感じる問題は金融システム、とりわけ不良債権の問題だ。足元問題になっているノンバンクを筆頭に、不良債権の積み上がりから一種の信用収縮が起きている状況であり、2020年に向けて国を挙げて、この問題にどう取組むかが注目である。(伊藤貴)

東京 ドル円は108.67レベルでオープン。前日の米トランプ大統領による「米中合意は2020年の米大統領選後まで待つ方がいいかもしれない」といった発言をきっかけとして米中通商協議への楽観的な見方が後退し仲値にかけて108.49まで弱含んだ。その後も上値の重い推移は変わらず108.58レベルで海外時間に渡った。

ロンドン ロンドン市場のドル円は108.58レベルでオープン。「米中が貿易合意に近づくと」の一部報道をきっかけに、米中貿易協議の進展期待が広がり上昇。一時108.79まで上値を伸ばしたが前日のトランプ大統領の発言が重しとなり、108.67レベルでNYに渡った。ポンドドルは、1.2943レベルでオープン。一部リサーチ会社が3日に発表した世論調査の結果から、与党保守党の勝利見通しが強まり、本日も堅調に上昇。1.3092レベルでNYに渡った。

ニューヨーク ドル円は108.67レベルでNYオープン。朝方は米11月ADP雇用統計が市場の予想を下回ったことから、売りで反応し安値108.55まで下落。その後、10時発表の米11月ISM非製造業指数も予想を下回ったことには反応は鈍かったものの米株の堅調推移やトランプ米大統領の「中国との交渉は非常に順調だ」との発言を受けて、買いが先行し108.89まで反発。午後には200日移動平均線(108.89)を控えるこの水準でもみ合いが続く。108.96まで上昇する場面もあったが、109円台に乗せることは出来ず、結局、108.87レベルでクロス。一方、海外市場のユーロドルは、来週の英総選挙で保守党(英与党)が勝利するとの見方の強まる中、期限内のブリクジット合意への期待感に買われたポンドに連れ高となり、1.1088まで上昇し、1.1079レベルでNYオープン。朝方は、米11月ADP雇用統計の予想以上に低調な結果を受けて、ドル売りが強まり、11月5日以来に1.11レベルを回復し、1.1108をつける。10時の米経済指標発表直後に高値1.1116まで上昇する場面もあったが、ユーロ圏経済の先行き不透明感が燃る中、戻り売りに押され、上昇分を全て吐き出し、安値1.1067まで反落する。終盤は1.1080近辺で小動きとなり、1.1077レベルでクロス。

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。なお、当行は本情報を無償のみ提供しております。当行からの無償の情報提供を望まない場合、配信停止を希望する旨をお申し出ください。

担当: 伊藤・小野崎 TEL:03-3242-7070 FAX:03-3211-5825 LDN 00531-444-179 NY 00531-113-682

■今週のドル/円 見通し

田中	竹内	筒井	加藤	関	光石	山岸	田坂	尾身	上野
フル	ベア	フル	フル	ベア	フル	ベア	フル	フル	フル
岡本	小野崎	玉井	原田	大庭	高村	松本	逸見	大谷	谷舗
フル	ベア	フル	フル	フル	ベア	フル	フル	ベア	ベア

フル	ベア
13	7